

coba

solo concert

～ピュアアコーディオン～



アコーディオン1台で紡ぎ出す
ピュアでポップな旋律！
楽器のイメージを変えた男の飽くなき挑戦
1年ぶりのソロコンサート実現！！

過ぎ去りし永遠の日々
リベルタンゴ
上を向いて歩こう
ほか

2015. **7/11** [土] 17:00開演 **3/28(土)**
(平成27年) **発売**
全席指定:5,000円

よこすか芸術劇場 京急汐入駅前 / JR横須賀駅徒歩8分

※学生券(24歳までの学生)は一般料金の半額。※劇場友の会会員は10%OFFとなります。
※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※託児サービスあり。(定員有。7月6日(月)までの事前予約制)お申し込み:長谷川キャリアサポート 045-321-1388(月～金 9時～18時)

横須賀芸術劇場

電話予約センター ヨコスカ **046-823-9999**
(劇場友の会専用ダイヤル 046-823-7999)

インターネット <http://www.yokosuka-arts.or.jp>
※受付は発売初日18:00より

窓口販売 横須賀中央駅西口モアーズシティ1階/モアーズストリート
芸術劇場1階/サービスセンター内

■ チケットぴあ <http://pia.jp/> (Pコード:254-289)

■ e*(イープラス) <http://eplus.jp/>

■ ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:37511)

主催:公益財団法人横須賀芸術文化財団 企画・制作: **f-Square**

世界の音楽シーンに影響を与え続けた孤高のアコーディオニスト!



coba (アコーディオニスト・作曲家)

Profile

数々の国際コンクールで優勝。以来、ヨーロッパ各国でのCDリリース、チャート1位獲得など、"coba"の名前と音楽は国境を越え世界の音楽シーンに影響を与え続けている。20年以上にわたり恒例化しているヨーロッパツアー、更にはアイスランド出身の歌姫ビョークのオファーによるワールドツアー参加など、今や日本を代表するアーティストとしてその名を世界に轟かせている。常にハイクオリティなサウンドを追究したその作品は国内外に高い評価を得る。

アコーディオンのイメージをポップミュージックの世界で大きく変えたその音楽は今や"coba"というひとつの音楽ジャンルになったとも言われる。

バンクーバーオリンピックの男子フィギュアスケートにて、cobaの「eye」でプログラムに 臨んだ高橋大輔がメダルを獲得し、またロンドンオリンピックでは体操の寺本明日香選手が「時の扉」を使用。冬夏2シーズンに渡り、cobaの楽曲が世界の舞台で金字塔を打ち立てた。また、今日までプロデュースしてきた映画、舞台、テレビ、CM音楽は500作品を超える。その他演奏家やオーケストラへの委嘱作品を手がけるなど、作曲家としても多くの作品を生み出している。

2013年11月6日、通算35枚目にして自身初となる独奏アルバム『coba pure accordion』をリリース。2014年12月17日、36作目の『cobacabada』をリリース。2015年1月よりこのアルバムをひっさげて全国ツアー「coba tour 2015 cobacabada」を開催。

若き日の僕は

アコーディオンのイメージを変える為に、

「3つの禁じ手」を決めました。

一つ、のど自慢の伴奏楽器に仕立て上げられていたアコーディオンをもう「伴奏楽器」と呼ばせないために、他人の伴奏はしない。

一つ、新しい「アコーディオン」という音楽ジャンルを創るために

人のカバーはせず、自分が書いたオリジナル曲のみを演奏する。

一つ、何でもこの一台で出来てしまう便利屋の屈辱的な代名詞だった

「ひとりオーケストラ」を払拭するために、

ソロ演奏(独奏)をしない。

これが僕のアコーディオンのイメージ変革のための作戦でした。

それは同時に、自分の仕事を減らして自らの首を絞める

ことにもなる苦渋の選択でもありました。

周囲から見たら別にどうでもいいようなこの感覚…

しかし恐らくそれは愛する楽器の誤解されたソーシャルイメージに苦渋を舐めた人間にしかわからない特殊感覚であり、それは自分の愛する人が周囲に蔑まれるのを痛恨の念を持って見るに似た体験でした。しかし今や、これこそが僕自身の感性の基軸にもなっているコアな感覚、大切な記憶です。

今まで沢山のコンクールで勝ち、国内外の名誉ある賞を頂き、世界のアーティストたちとコラボし、数々の仕事をしてきました。

その成功の根源にあるのは、いつもこの感覚です。醜いアヒルを白鳥に変身させ、大空を優雅に羽ばたかせてやりたい。

あと一つ何かを変えればもっと良くなるのではないかな?あと一歩先に進めば新しいものが生まれるのではないかな?もうひとつ先の扉を開ければ、誰も聴いたことのない音が両手を広げて待っているのではないかな?もうちょっとだけ、あと一歩だけ、あと一秒だけ…

そうやって生きてきました。

そうやって作ってきました。

「3つの禁じ手」の意味を知る僕だからこそ、

その重要性を誰よりも理解しています。

最近、日本ではもう誰ひとりとして

「なぜアコーディオンなんか?」「どうしてこんな楽器を?」

と言う人はいなくなりました。

ようやくアコーディオンに市民権が生まれたのだと思います。今。

もう僕には「3つの禁じ手」は必要ないと感じます。

「伴奏だってカバーだって、独奏だって関係ない」

やっと一般市民になることが出来たからこそ、言える言葉です。

35枚目だからこそ、初めて語る言葉です。

そんなわけで coba 史上初のこの独奏アルバム。

皆さまにお届けできる幸せを噛みしめています。

ここまで聴いてくれた貴方に感謝です。

そして初めて聴く貴方へ。

このアルバムは僕ひとりの「怨念の唸り声」

このアルバムは僕ひとりの「解放された歓喜の叫び声」

覚悟して聴いてね。

coba

2013年11月6日リリースアルバム「coba pure accordion」より転載
© NIPPON COLUMBIA CO., LTD